

令和3年度 出し平ダム・宇奈月ダムの 連携排砂実施結果（速報）について

今年度の連携排砂実施期間が終了したことから、排砂量及び環境調査結果（速報）をお知らせ致します。

今年度の連携排砂実施期間では、7月5日～7日に連携排砂、8月10日、15日、25日に細砂通過放流を実施しました。

出し平ダムの目標排砂量約5万m³に対し約9万m³の排砂を実施しました。

連携排砂および細砂通過放流における環境調査の結果は、ダム・河川水質や海域底質の一部の調査項目において過去の観測値の最大（又は最小）値を超えましたが、概ねこれまでの観測値の範囲内でありました。

1. 出し平ダム排砂量と宇奈月ダム堆砂量の変化について

出し平ダムは、目標排砂量^{※1}約5万m³に対し約9万m³の排砂を実施しました。この結果は、想定変動範囲^{※2}（約0万m³～約11万m³）に収まる結果となりました。

一方、宇奈月ダムの堆砂量^{※3}は、令和3年5月と排砂後の測量結果を比較すると約3万m³減少したことから宇奈月ダムの堆砂量は約812万m³（堆砂率^{※4}68%）となりました。

【参考】連携排砂が始まった平成13年から令和2年までの出し平ダムにおける年間排砂量の平均は約31万m³です。

※1：目標排砂量は、令和2年通砂後の8月から令和3年5月までに堆積した土砂量としています。

※2：想定変動範囲は、出し平ダム上流より流入してくる土砂量を考慮し排砂量の変動範囲を推定したものです。

※3：堆砂量は宇奈月ダム湖に堆積した土砂量です。

※4：堆砂率は、計画堆砂量（1,200万m³）に対する、堆砂量（812万m³）の進行割合を示すものです。

2. 主な環境調査（水質・底質）結果（速報）について

連携排砂の実施に伴い、水質や底質の環境調査を実施した結果については、概ね過去これまでの観測値の範囲内でした。なお、過去の観測値の最大（又は最小）値を超えた結果は次のとおりです。

時期・地点	区分	過去の最大値を上回った観測値		過去の最小値を下回った観測値	
		水質	底質	水質	底質
5月	ダム	出し平ダムNo.1底層のCOD ^{※1} の観測最大値 (1地点/4地点中、1項目)	宇奈月ダム20.8kのCOD、全窒素、50%粒径の観測最大値 (1地点/2地点中、3項目)	(0地点/4地点中、0項目)	宇奈月ダム20.8kの全リンの観測最小値 (1地点/2地点中、1項目)
	河川 ※				
	海域	(0地点/4地点中、0項目)	生地鼻沖の全窒素の観測最大値 (1地点/14地点中、1項目)	(0地点/4地点中、0項目)	(0地点/14地点中、0項目)
排砂 (1日後含む)	ダム	(0地点/2地点中、0項目)	(調査対象外)	(0地点/2地点中、0項目)	(調査対象外)
	河川	(0地点/6地点中、0項目)	(調査対象外)	出し平ダム直下SS ^{※2} 観測平均値の観測最小値 (1地点/6地点中、1項目)	(調査対象外)
	海域	(0地点/6地点中、0項目)	(調査対象外)	(0地点/6地点中、0項目)	(調査対象外)

※河川および海域定期（水質・底質）調査については、9月定期調査の終了後、黒部川ダム排砂評価委員会で提示予定

その他の地点の調査結果については、過去の観測値の範囲内でした。

- ※1：CODとは、化学的酸素要求量(Cheical Oxygen Demandの略称)で、水中の有機物などを酸化剤で酸化するときに消費される酸素の量であり有機物の大小を示すものです。
- ※2：SSとは、浮遊物質量(Suspended Solidの略称)で、水中に浮遊している物質の量を示すものです。

3. 連携排砂時の流量について

◆ 連携排砂の各ダムピーク流量と累計降雨量（令和3年7月5～7日）

出し平ダム：457.0m³/s（既往の排砂・通砂・細砂通過放流等の中で、19/51番目の流入量）
宇奈月ダム：528.6m³/s（既往の排砂・通砂・細砂通過放流等の中で、22/51番目の流入量）
累計降雨量：宇奈月ダムで124mm、仙人谷ダムで264mm

連携排砂実施基準である出し平ダムの流入量が250m³/sを超えたことから実施に至ったものです。

4. 今後の予定について

今回、お知らせさせていただきました主な環境調査結果の考察並びに宇奈月ダム先行操作の効果検証については、今後11月まで予定している定期調査結果を踏まえてとりまとめを行い、その後の「黒部川ダム排砂評価委員会」（令和4年1～2月開催予定）で評価して頂く予定です。

（添付資料）

- ・ 令和3年7月連携排砂の実施結果について …………… 添付資料-1-①
- ・ 令和3年8月細砂通過放流（1回目）の実施結果について …………… 添付資料-1-②
- ・ 令和3年8月細砂通過放流（2回目）の実施結果について …………… 添付資料-1-③
- ・ 令和3年8月細砂通過放流（3回目）の実施結果について …………… 添付資料-1-④
- ・ 令和3年7月連携排砂、8月細砂通過放流に伴う環境調査結果について（速報）
…………… 添付資料-2

なお、添付資料につきましては、国土交通省黒部河川事務所ホームページ

「宇奈月ダム・排砂関連情報」（<http://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/haisa/haisa.html>）に掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

5. その他

令和3年5月31日に記者発表させていただきました「黒部川連携排砂予報」につきましては、令和3年度の連携排砂実施期間（6月1日～8月31日）が終了したことから、本年度の連携排砂の予報情報の提供を終了しています。なお、令和4年度も連携排砂実施期間にあわせ再開予定です。

■排砂、通砂、細砂通過放流について

排砂：当年度最初の一定規模以上の出水・洪水時に実施するもので、貯水池の一定の堆積形状をできるだけ維持するよう、前年の排砂（通砂が実施された場合は最後の通砂）終了後に堆積した土砂を排出するもの。
通砂：排砂後の一定規模以上の出水・洪水時に実施するもので、出水・洪水に伴って流入してくる土砂を通過させるもの。
細砂通過放流：出し平ダムでは主に排砂ゲート、宇奈月ダムでは水位低下用ゲートを用いて、出水・洪水時に流入する細かな土砂を通過させるとともにダム堆砂面付近の水の流れをつくり底質の環境を維持するもの。

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局
黒部河川事務所 副所長（技術） 佐々木 利幸
土砂管理課長 井田 聡
電話：0765-52-1122（代表）
関西電力㈱北陸支社
コミュニケーション統括グループ
リーダー 野口 美佐子
吉崎 豊
電話：070-2440-9277